

一次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

小学2年生の終業式が間近に迫ったある日、子が学校から帰ってくるなりとつぜん「今年リニンする先生、アプリで発表されてる？」と聞いてきて、「一瞬なにを言われているのかわからなかったがすぐに「リニン＝離任」つまり今年度で学校を離れる先生のことを意味しているのだとわかった。

聞かれて答えるくらいならこちらから先に伝えておけばよかった……と思ったが、後悔しても遅い。数時間前に学校から保護者向けに配信があり、そこでは今年度で離任する先生が発表されていたのである。そして私はその中に日頃から子が慕っていたクラス担任の名前が書かれてあるのを見つけてしまった。

こんなショックニュースをどうやって伝えればよいのやら。

迷っていた矢先の、子の帰宅であった。

担任のことは新学期の初日からやさしい先生でよかったと何度も喜んでいて、その後も1年間、元気でやさしくて笑顔がすてきだという担任自慢を聞かされ続けていたので、私は学期ごとに設けられた保護者と教師の面談の席では毎回、子が普段から家で先生のことをどれだけほめちぎっているのかを言葉にして伝えていた。

子はおそらく教室や担任の前では物静かである。

小学生というのは（これは仕方のないことだが）静かでおとなしいタイプの児童の声はどうしても周囲の活発な児童の声に埋もれがちになってしまう。

普段おとなしく学校で過ごしているうちの子が先生に対してどのような気持ちを抱いているのか、ということをしつかりわかってほしいと思った。

担任と向かい合った教室では毎回冗談まじりに「来年もこの学校にいてくださいね。その時はまたうちの子をたのんます。廊下とか階段で見かけたら気にかけてやってください。」みたいなことを伝えていた。

小学校の先生というのはなかなか切ないもので、同じ学校に長く在任する保証なんてどこにもない。若い先生ならなおのこと、短い期間でシャッフルされるように別の学校に行ってしまう。

「1年生の時の担任の先生も次の年に別の学校に行ってしまう、終業式の日にめっちゃ泣いてたんですわ、だから先生、来年もどうかここにいてください。」

こんなことは言ってもどうにもならないことであるとはわかっていたけれど……。

リニンする先生について聞かれた私は答えに困り、とつさに「まだスマホ確認しないから後で見とくわ。」などとその場をごまかしてしまつたのだが、「ところでなんでそれが気になんの？」と聞いた。すると子は「今日先生に呼ばれて、離任式の花束役をたのまれたから。」と答えた。

「花束役って……誰に渡すの？」

「わからん。」

「先生がきみに花束役をお願いするわって言うたん？」

「そう。」

「そんなや……としか言えず、私はその場でスマホを起動させ、

「ここに先生の名前があるんよな。」と学校からの配信を見せた。

つい先日おこなわれた授業参観では皆の前で学習用パソコンを使って好きなものや特技などの自己アピールをするという時間があつたのだが、ほとんどの子がそつなくこなす中、それができず教室でただ1人泣き始めたうちの子と、弱々しい笑顔で困り果てていた担任の姿を思い出し、（えらい大役を任せはつたな。）と思いながら……。

離任式は終業式と同じ日におこなわれる。その日の朝「先生が大事なイベントの花束贈呈役にきみを選んだっていうのを誇りに思いなさい。期待にこたえたれ！」と出かける背中しに声をかけた。

本番では、まだ何も始まらないうちからすでに泣きじゃくっている子供の姿が早々に確認できた。

式が進んで行き、学校を離れる先生たちのスピーチが続き、そして最後の最後に先生の元に歩いて行って派手に泣きながらもしつかり花束を手渡している。

いま自分が目にしているこの景色はなんなのか。

色々なものがすぐにこわれそうで、もろく、はかなく、たくましいような、よくわからないような、まぶしいような、そんな感情が自分の中に乱反射し、体育館の窓越しに、日の光に照らされた桜の花びらが次から次に斜めに流れて行く。子の2年生が終わった。

（平民金子『幸あれ、知らんけど』による）

問一——線部1「とつさに『まだスマホ確認しないから後で見とくわ。』などとその場をごまかしてしまつた」とありますが、このようにしたのはなぜですか。理由を答えなさい。

問二——線部2とありますが、「子」とやりとりした後の筆者が

「その場でスマホを起動させ」たのは、どのように思ったからですか。最も適当なものを次のア～オから選び、記号で答えなさい。

ア 先に知らせてやることで、大好きな担任の先生の離任という悲しみを完全になくしてやるのが、「子」に対して適切なやり方だ。

イ 大事な役目として任されたのに、花束を渡す相手を「子」が知らないせいで、当日にあわてて失敗してしまうことを防ぎたい。

ウ 大好きな担任の先生が離任してしまうのは「子」にとつてかわいそうだが、もしかすると間違いかもしれないので、確認しよう。

エ 早くから決まっていることなので、大好きな担任の先生の離任はもうどうしようもないと、「子」に事前にわからせておきたい。

オ 任された役目として花束を渡す相手が、大好きな担任の先生自身であると「子」がまだ知らないのは、かえってかわいそうだ。

問三——線部A「アプリ」は「アプリケーション」の略ですが、このように外来語をカタカナ三字に略した言葉はいろいろあります。次の言葉の省略される前の形を、指定された字数のカタカナで答えなさい。

- | | |
|-----------|-----------|
| 1 コスパ（十字） | 2 コラボ（八字） |
| 3 バイト（五字） | 4 ラノベ（六字） |

問四——線部B「矢先」とありますが、「（ ）先」という形の言葉はいろいろあります。次の各文の（ ）に入る言葉をそれぞれひらがな二字で答えなさい。

- | |
|----------------------|
| 1 （ ） 先の対策では通用しない。 |
| 2 新学期初日から（ ） 先がいい。 |
| 3 （ ） 先三寸で金をだまし取られた。 |
| 4 非難の（ ） 先を向ける。 |

問五——線部C「そつなく」とありますが、「（ ）なく」という形の言葉はいろいろあります。次の各文の（ ）に入る言葉をそれぞれひらがな二字で答えなさい。

- | |
|--------------------------------|
| 1 家の中を（ ） なく探したが、見つからなかった。 |
| 2 彼女は小説家の作品を（ ） なく愛している。 |
| 3 参加するだけで（ ） なくプレゼントがもらえる。 |
| 4 どれだけ待っても彼は来なかったので（ ） なく出発した。 |

二 次にあげた「一」から始まる四字熟語が、示された意味になるように、**A・B** に当てはまる漢字をそれぞれ答えなさい。

- 1 一 **A** 専 **B** 「意味」わき目もふらず、集中して取り組むこと。
- 2 一 **A** 帯 **B** 「意味」二つのものの間をへだてるものがあるが、両者の関係が非常に深いこと。
- 3 一 **A** 千 **B** 「意味」たいへん楽しみで待ち遠しいこと。
- 4 一 **A** 両 **B** 「意味」一つの行動で二つの利益や目的を達成する。

三 次にあげた1・2の「ア」オの文の——には、かなづかいが誤っているものがあります。それぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

- 1 ア 新しいくつが合わなかったのか、くつずれができて、痛い。
イ 学校生活の中で、級友とのきずなはぐくんできた。
ウ どんな逆境にもめげず、少しずつでも前に進もう。
エ 何年もかけて、深い信頼関係をきずきあげた。
オ ぼくも幼いころは、「君の字は読みづらい。」と言われたよ。
- 2 ア あの二人は、似た者どおしが反発しあつて、仲が悪い。
イ 今から出発しても、とうてい間に合いそうにない。
ウ 君たちは兄弟だったのか。どうりで声が似ているわけだ。
エ 君の言っていたとおり、大変なことになってしまった。
オ 年が九つだった弟が、誕生日をむかえて、とおになった。

四 次の1～6の各組の俳句の——には同じ言葉が入ります。最も適当なものをそれぞれ後の「ア」から選び、記号で答えなさい。ただし、同じものはくり返して使えません。

- 1 この景に優るものなし—— 伊藤愛子
—— 町が正座をしてをりぬ 池田璋子
—— 大濤にをどり現れ—— 高浜虚子
 - 2 観覧車はいつも水平—— 杉本かずみ
—— 液晶の文字はべとべと 山内崇弘
—— 小道に山の息吹かな 田中聡子
 - 3 影が蔭さがしてをりぬ—— 岡本久一
—— 息荒くゆく僧ありて 保坂加津男
—— ゆがみつ近づく列車—— 北川英子
 - 4 ジョバンニのその後は知らず—— 近藤栄治
—— 別るるや夢一筋の—— 夏目漱石
—— 柱のごとく見て眠る 沢木欣一
 - 5 噴水のひろがりやまず—— 木下夕爾
—— 天の網くぐり抜けしか—— 石橋葉美
—— 消えて旅愁は消えざりし 藤崎久を
 - 6 酔醒めを急かしてをりぬ—— 森裕子
—— 一枚の暦を揺らす—— 門脇山卯
—— 中島徳子
- ア 天の川（あまのがわ） イ 鰯雲（いわしぐも）
ウ 炎天下（えんてんか） エ 風薫る（かぜかおる）
オ 隙間風（すきまかぜ） カ 初日の出（はつひので）

五 次の1～4の各文の——に入る「リ」で終わる外来語を、それぞれ——内に指示された字数（「リ」も字数に入れる）で答えなさい。

- 1 一見ぶあいそうな人が、話してみると実は**六字**な人だった。
- 2 この大会への**五字**の手続きを忘れないでください。
- 3 その小説は、**五字**の展開がありふれたもので、期待外れだった。
- 4 私の夫は料理作りが趣味で、和洋中と料理の**六字**は豊富だ。

六 **A**「犬に論語」、**B**「弁慶になぎなた」、**C**「とうふにかすがい」ということわざについて、次の問いに答えなさい。

- 1 **A**と**C**のことわざの意味として、最も適当なものをそれぞれ次の「ア」から選び、記号で答えなさい。ただし、同じものはくり返して使えません。
ア おろかな者に道理を言い聞かせてもむだなこと。
イ ただでさえ強いものに、さらに強さが加わること。
ウ 達人・名人でも、時には失敗することがあるということ。
エ どのように働きかけても手ごたえがなく、ききめがないこと。
オ まったくつり合わないこと。

2 次にあげた言葉を二つ用いると、「○に□」という形で、**A**と**C**のことわざと似た意味のことわざを作ることができます。それぞれ二つずつ作り、解答らんに合わせて答えなさい。ただし、同じものはくり返して使えません。

【用いる言葉】 牛 馬の耳 腕押し 鬼 金棒 経文 くぎ
つばさ 虎 ぬか 念仏 のれん

七 次の漢字しりとりを、【条件】に合わせて完成させなさい。

敵 **A1** — **A1** **A2** — **A2** 会 — 会 **B1** — **B1** **B2** —
B2 内 — 内 **例1** — **例1** **例2** — **例2** 水 — 水 **C1** —
— **C1** **C2** — **C2** 頭 — 頭書 — 書 **D1** — **D1** **D2** —
D2 金 — 金品 — 品 **E1** — **E1** **E2** — **E2** 感 — 感化 —
化 **F1** — **F1** **F2** — **F2** 明

【条件1】 解答する字も、示された字も、読み方はすべて音読みです。また、熟語の一字目になる場合と二字目になる場合とで、読み方が異なることがあります。

【条件2】 解答する字は、示された字もふくめ、同じ字をくり返して使えません。

【条件3】 **A1**・**B1**・**例1**・**C1**・**D1**・**E1**・**F1**を熟語の一字目として読むとき、小さい「ツ」が付く読み方です。読み方は、同じものをくり返して使ってもかまいません。

【条件4】 熟語の二字目としての例2の読み方は、「カ」です。**A2**・**B2**・**C2**・**D2**・**E2**・**F2**については次のいずれかを選びなさい。同じものはくり返して使えません。

（カン、キュウ、コウ、シ、シュウ、タイ）

【例1の解答】 閣（熟語の一字目としての読み方は「カッ」）

【例2の解答】 下（熟語の二字目としての読み方は「カ」、一字目としての読み方は「ゲ」）

受験番号

◎ 解答に字数制限のある場合、句読点などの記号も字数に数えます

◎ 解答は、一行の枠内に二行以上書いてはいけません。

◎ 解答らん・受験番号らんの外には何も書いてはいけません。

1
2
3
4
5
6

4	3	2	1
	リ	リ	
リ	丨	丨	リ
丨			丨

2						1
C		B		A		A
に	に	に	に	に	に	
						B
						C

E1	C1	A1
E2	C2	A2
F1	D1	B1
F2	D2	B2

問五		問四		問三				問二	問一		
3	1	3	1	4	3	2	1				
なく	なく	先	先								
4	2	4	2								
なく	なく	先	先								

4	3	2	1
—	—	—	—
兩	千	帶	專

1	
2	